

やさしい英語による経営学講座

好評 活発な質疑応答

講師 ルイス・ブレナン 海外客員教授

パスで開かれた。講演から質疑応答まで全て英語で展開し、昨今の国際情勢の動きを共有する。

講師は経営学部海外客員教授のルイス・ブレナン氏(アイルランド・ダブリン大学トリニティカレッジ)が参加した。生ら約80人が参加した。ブレナン教授は、テロ活動にまで及んだ英領北アイルランドでのカトリック系住民とプロテスタント系住民の対立から和平プロセスへの進展を、分かりやすく解き明かした。さらに、英国が欧州連合(EU)から離脱を選択したことによりEU加盟

国アイルランドの帰属意識についても言及した。講演後は活発な質疑応答が繰り広げられた。ブレナン教授は「テーマを深く掘り下げた質問が多く寄せられた」と聴衆の熱心な様子を語っていた。11月11日からは経済学部海外客員教授のステイブ・リム氏(ニュー

ジーランド・ワイト大学)による第166回国際交流特別講演会「やさしい英語による経営学講座」が、生田キャンパスで始まった。統一テーマは「ビジネスにおける経済パズル解説」5つのi f」。12月9日まで毎週土曜日に開催。1回だけでも参加できる。

今年の10月2日に発表されたノーベル医学・生理学賞は体内時計をうまく出す遺伝子制御システムの研究を発展させた3人のアメリカ人研究者に授与された。体温、睡眠・覚醒サイクルなどの生命現象は1日約24時間の概日リズムがあり、体内時計は、このリズムを形成するのに重要な役割を果たしています。ノーベル賞の授与にも代表されるように概日リズムは、たわなに実った紫色の房に歓声が上がった。「粒が大きい」「みずみずしくておいしい」と参加者は秋の味覚を満喫した。

第165回国際交流特別講演会「やさしい英語による経営学講座」(全5回)が9月30日から10月28日まで、生田キャン

北アイルランド紛争について説明するブレナン海外客員教授(10月21日)



留学生交流バスハイイクが10月15日に行われ、山梨県で富士山五合目散策とブドウ狩りを楽しんだ。当日はカンボジア、ラオス、中国、ベトナム、アメリカ、カナダ、フランス、台湾の留学生9人と日本人学生13人が参加した。

朝から雨が降る寒い一日で、五合目から富士山の頂を眺めることはできなかったが、午後には雨が上がり、ブドウ園で



ブドウ園で記念撮影する留学生ら

勝つための生活習慣

学問・スポーツで効果をあげる時間医学

「健康フラッシュ」が強く影響を与えています。近年、この仕組みを生かして、生活習慣病の治療や予防をはじめ、スポーツトレーニング、ダイエットのためさまざまな方法が考えられてきています。たとえば、効果的に

筋力・持久力を高めるには、何時ごろに、どれだけ栄養をとった方がいいのか? 効果的なトレーニングの時間帯は? 同じ物を食べても太らない時刻は? 試験で失敗しない睡眠とは? 睡眠が足りないときの効果的な昼寝の取り方は?

11月20日(月)17時15分から生田207教室で開催する「健康講座」では、ちょっとした食事や睡眠の工夫で、日常生活でパフォーマンスを上げ、競技や試験で「勝つ」ことができる身近な「時間医学」「時間栄養学」「時間スポーツ学」をテーマに取り上げます。(保健室)

「時給が最低賃金を下回っている」「シフトを無理やり組まれる」など8項目にわたるチェック表を提示。一つでも当てはまればブラックバイトに該当するという。

傾けていたII写真。講師はアルバイトサイトを運営するナジック・アイ・サポートの東日本事業部長の池澤勇夫さん。「休めない、辞められない」といった働きを強いられた、学業がおろそかになるバイトのことをブラックバイトという。池澤さんは「バイトでも労働者であることを認識し契約、労働法に対する基礎知識を持つことが大切だ」と話した。



研究の成果を発表する池本 日本獣医生命科学大名誉学長

緑鳳学会開催 本学出身の研究者らでつくる専修大学緑鳳学会

(小杉伸次会長)の第26回大会が10月21日、生田キャンパスで開催された。50人が参加し、研究成果を発表した。

パネルディスカッションの統一テーマは「ファミリー企業における事業承継―親族内承継」。基調講演の後、小杉会長(札幌学院大名誉教授)、小野憲昭北九州市立大学教授ら5人の研究者・実務家が報告と討議を行った。池本即興日本獣医生命科学大名誉学長が「血液型の誘惑―血液遺伝標識の狩人達―として法医学・人類遺伝学への応用」と題して研究発表した。

「ブラックバイト防止講習会」が9月28日、生田キャンパスで開催された。身近な問題だけに約100人の学生が熱心に耳を

「ブラックバイト防止講習会」が9月28日、生田キャンパスで開催された。身近な問題だけに約100人の学生が熱心に耳を



三曲研究会(川口夏輝代表・経済3、会員59人)が日ごろの練習の成果を発表する第49回定期演奏会

演奏会が10月14日、川崎市幸市民館で開かれた。聴衆約250人がみずみずしい音色に聴き入った。三曲研究会は箏、三味線、尺八を演奏する。演奏会の曲目は「八代獅子」「さらし」「風と木と水と」「四季の遊び」など古典から現代曲まで11曲。最後の「大津絵幻想」では胡弓、琵琶、篠笛も加わり、30分にわたって大演奏した。

来場者から「和楽器の音色に初めて触れた」「感動した」などの声が聞かれた。川口代表は「楽しんで演奏できた」と話した。

着物姿で「さらし」を演奏する会員

三井住友銀行 LEAD THE VALUE SMFG

MIZUHO みずほ銀行 One MIZUHO

〈みずほ〉は、ひとりひとりのお客さまに寄り添った解決策をご提案します。

東京2020オリンピックパートナー